



## 九州製鉄所八幡地区 電炉プロセス転換工事に着工

～世界初となる大型電炉での高級鋼一貫製造・量産システムを実現～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、2021年3月に公表した「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン2050」において、「大型電炉での高級鋼製造」「水素による還元鉄製造」「高炉水素還元」の3つの革新技术を用いたカーボンニュートラルの実現を目指しています。このうち、「大型電炉での高級鋼製造（高炉プロセスから電炉プロセスへの転換）」について、九州製鉄所八幡地区、瀬戸内製鉄所広畑地区、山口製鉄所（周南）の3拠点において新增設・改造&再稼働を実施します。

九州製鉄所八幡地区における「高炉プロセスから電炉プロセスへの転換」は、大型電炉での高級鋼一貫製造・量産システムを世界で初めて実現するプロジェクトです。本プロジェクトの着工に際し、本日、八幡地区構内にて、星野 光明九州経済産業局長、服部 誠太郎福岡県知事、武内 和久北九州市長をはじめとすご来賓の皆様のご臨席を賜り、起工式を執り行いました。

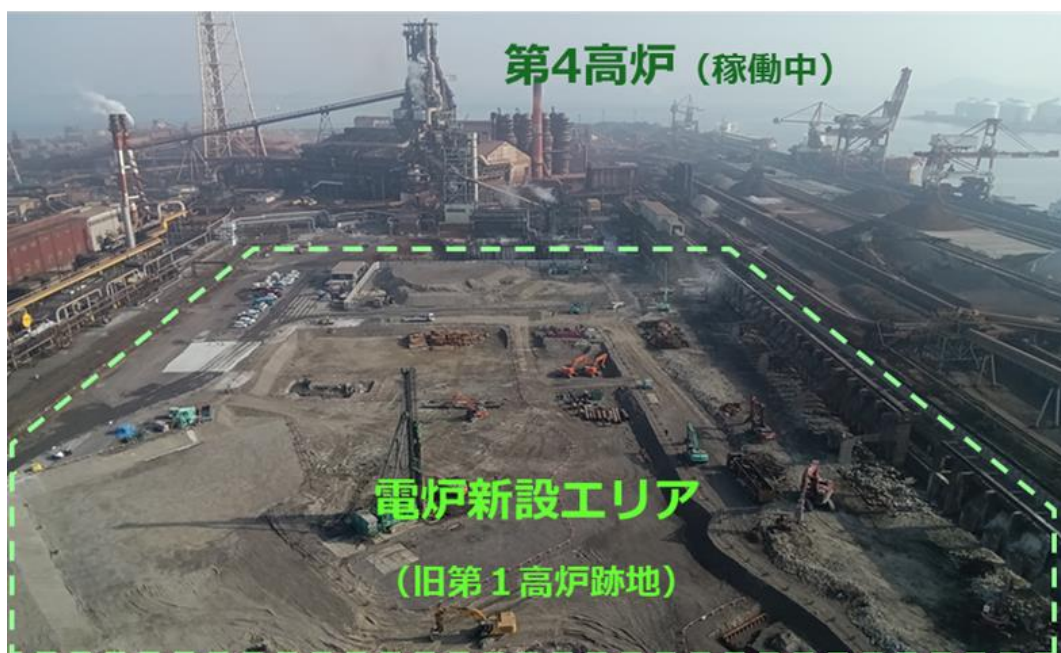
### <常務執行役員 九州製鉄所長 中田 昌宏のコメント>

九州製鉄所は大型電炉での高級鋼一貫製造体制を構築し、八幡地区・大分地区一体となって、カーボンニュートラル時代において世界をリードする生産拠点の実現に挑戦しています。本プロジェクトの実現にあたっては、官民による連携のみならず、地域の皆さまをはじめとする関係ステークホルダーの幅広いご理解とご協力が不可欠となります。今後とも本プロジェクトへの変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### <高炉プロセスから電炉プロセス転換工事の概要>

建設場所	合計	九州製鉄所 八幡地区	瀬戸内製鉄所 広畑地区	山口製鉄所 (周南)
投資内容	電炉3基 新設/増設/ 改造・再稼働 等	電炉1基新設	電炉1基増設	電炉1基 改造・再稼働
		高級鋼製造対策、物流対策、電源対策、 下工程エネルギー対策等を含めた付帯・関連設備		
投資額	8,687億円	6,302億円	1,400億円	985億円
生産能力	約290万t/年	約200万t/年	約50万t/年	約40万t/年
生産開始	～2029年度	2029年度下期	2029年度下期	2028年度下期

日本製鉄は、「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン2050」の実現を通じ、「社会全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に寄与する高機能鋼材とソリューションの提供」「鉄鋼製造プロセスの脱炭素化によるGXスチールの提供」という2つの価値を提供することで、サプライチェーンでのCO<sub>2</sub>削減の実現を目指します。



<建設予定地>

(参考) 2025年5月30日付 高炉プロセスから電炉プロセスへの転換投資を決定

[https://www.nipponsteel.com/newsroom/news/2025/\\_icsFiles/afieldfile/2025/09/10/20250530\\_200.pdf](https://www.nipponsteel.com/newsroom/news/2025/_icsFiles/afieldfile/2025/09/10/20250530_200.pdf)

以上

お問い合わせ : <https://www.nipponsteel.com/contact/>